

中之島の航空磁気測量結果*

The Results of Aeromagnetic survey of Naka-no-Shima

海上保安庁
Japan Coast Guard

2010 年 10 月に実施した南西諸島中之島の磁気測量結果及び 2001 年 9 月測量分との比較した結果について報告する。

1 調査要目

期間：2010 年 10 月 21 日, 2001 年 9 月 18 日

航空機：LA701（海上保安庁）

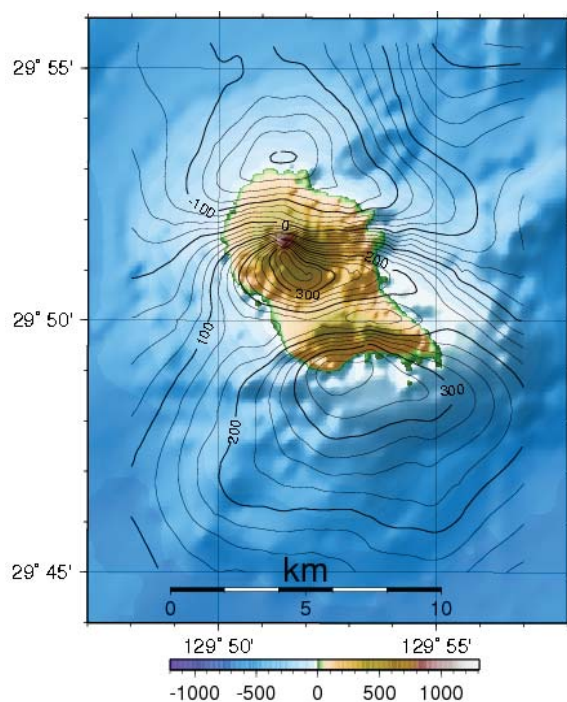
磁力計：プロトン磁力計

観測高度：1,300m

2 結果

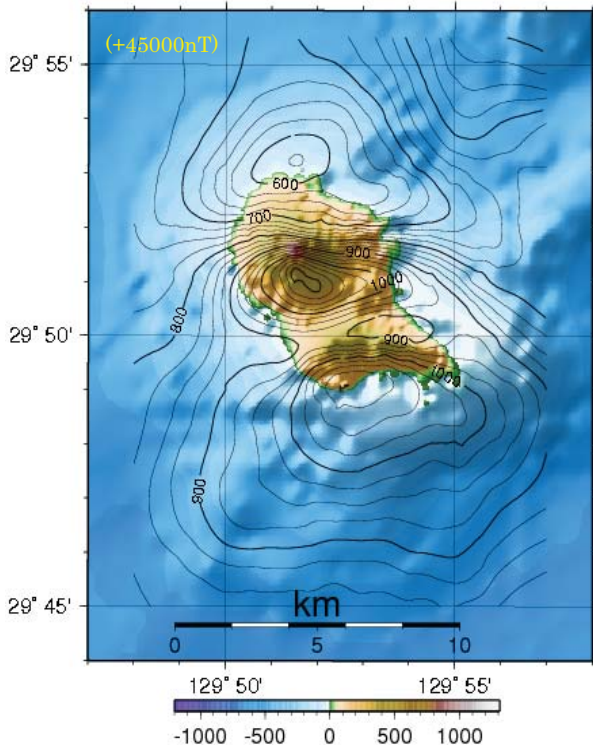
第 1 図に 2010 年 10 月に測量した中之島の地磁気異常分布（IGRF2010 による）を示す。第 2 図、第 3 図に 2001 年及び 2010 年測量による、45000nT を差し引いた地磁気全磁力分布を示す。第 4 図は 2010 年と 2001 年の全磁力の差である。地磁気は経年変化をしていることから、中之島の全磁力値の変化量を求めるため、固定観測所（気象庁鹿屋観測所）の変化量（2010 年－2001 年）を差し引いた。

第 4 図から、御岳の北側では正、南側では負の変化が見られる。ただし、同一の点を測量していないということから、この変化の有意性について、今後の測量データによる検証等を含め、検討が必要である。



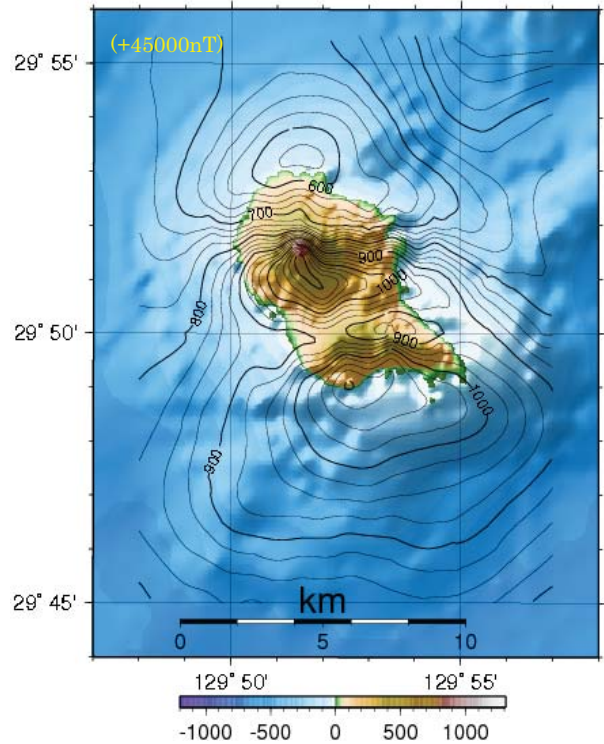
第 1 図 2010 年地磁気異常分布(コンター間隔 25nT)
Fig 1 Magnetic anomaly in 2010 (contour interval:25nT).

*2011 年 4 月 28 日受付



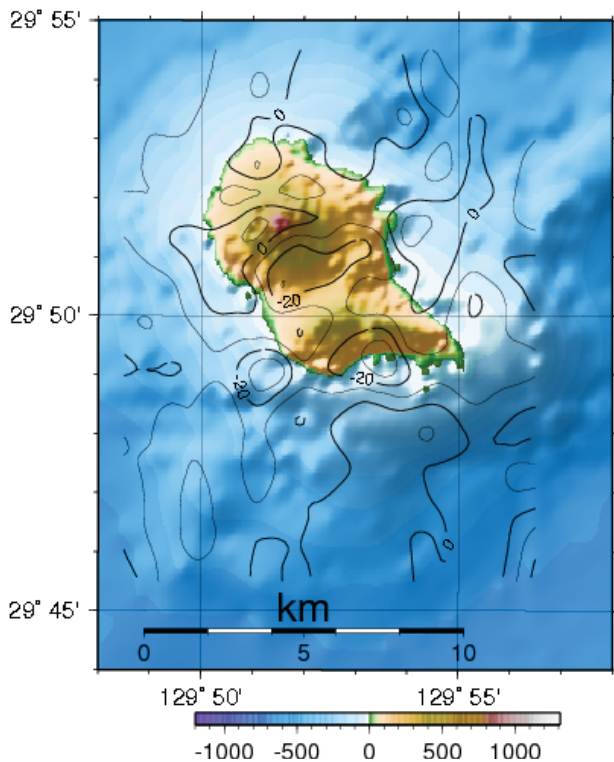
第 2 図 2001 年地磁気全磁力分布
(コンター間隔 25nT)

Fig 2 Magnetic total intensity in 2001
(contour interval : 25nT).



第 3 図 2010 年地磁気全磁力分布
(コンター間隔 25nT)

Fig 3 Magnetic total intensity in 2010
(contour interval : 25nT).



第 4 図 2010 年と 2001 年の地磁気全磁力の差(コンター間隔 10nT)
Fig 4 Subtraction of Magnetic total intensity in 2001 from in
2010 (contour interval : 10nT).

これらの図の陸部の地形は国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ」を使用した。
また、作図には GMT を使用した。